



関西国際空港における防災機能の強化対策について

本日、政府において、平成 31 年度財政投融资計画が決定され、当社に対する財政融資資金 1,500 億円の計上が認められました。

当社では、財政融資資金 1,500 億円を活用して、関西エアポートが実施する関西国際空港の防災機能の強化のための対策事業費 540 億円の 1/2 にあたる 270 億円を負担することにより、これらの対策の緊急かつ着実な実施を図ることとしております（主な事業概要は別添参照）。

当社といたしましては、今後、予算の成立を受けて、関西エアポート株式会社、国、関係自治体等関係者と連携を図りながら、災害に強い強靱な空港の早期実現に向けて事業の確実な実施に努力して参ります。

(お問い合わせ先)

新関西国際空港株式会社 総務部

TEL 072-455-4005

関西国際空港における防災機能の強化対策について



空港島内への浸水防止対策

対策	事業の概要	事業費	今後の主なスケジュール(予定)
【予防】 護岸の嵩上げ 消波ブロックの設置等	・越波の発生した第1期島東側護岸及び南側護岸について嵩上げを行うとともに、所要箇所の消波ブロックの設置等を行う。また、護岸の嵩上げに伴い、航空機の安全運航の確保の観点から必要がある場合には、滑走路等の嵩上げを行う。	206億円	・護岸の設計高さについては、台風21号を踏まえた設計条件の変更を行うとともに、消波ブロックの設置効果の検証等を行い、来年度上半期目途に確定。 ・護岸の嵩上げは、滑走路嵩上げとの調整が必要なものを除き、20年度中の完成を目指す。
【予防】 防潮壁の嵩上げ	・第1期島南側の止水壁を嵩上げし、防潮壁として機能させることで、南側護岸からの越波浸水の防止に資する。	2億円	・防潮壁の嵩上げ高さを本年度内に確定し、来年度中の完成を目指す。

万が一浸水が発生した場合のターミナルビル等の電源機能等確保対策

対策	事業の概要	事業費	今後の主なスケジュール(予定)
【減災】 電気設備等の地上化	・万が一島内への浸水が発生した際、空港内の主要施設の電源機能を確保するための抜本的措置として、電気設備等の地上への移設を行う。	262億円	・来年度上半期までに電気設備等の地上移設のための設計等を完了し、20年度出水期までの完成を目指す。
【減災】 止水板の設置	・電源施設のある第1ターミナル地下区画等への浸水を防止するため、止水板を設置する。	23億円	・緊急性が特に高い第1ターミナル地下区画を防護するための止水板の設置については、来年度出水期までの完成を目指す。
【減災】 制御盤嵩上げ等、電気施設等浸水対策(水密化)	・空港設備の制御盤の設置位置を嵩上げするとともに、空港島内重要施設の電気室内への浸水を防止するため、ドアの水密化等を行う。	28億円	・緊急性が特に高い第1ターミナル地下区画の電気室ドアの水密化については来年度出水期までの完成、その他の箇所の水密化や制御盤嵩上げ等についても来年度中の完成を目指す。

空港島内浸水時等における排水機能の確保・早期復旧対策

対策	事業の概要	事業費	今後の主なスケジュール(予定)
【予防】 排水ポンプ浸水対策等	・島内への雨水・浸水の排水機能を確実に確保することにより、被害の防止・空港機能の早期復旧等に資するため、排水ポンプの電気施設の防護等を行う。	18億円	・排水ポンプの電気施設の防護対策については、来年度中の完成を目指す。
【復旧】 大型ポンプ車・小型ポンプ・非常用滑走路灯	・島内浸水時の排水機能を強化すること等により、空港機能の早期復旧等に資するため、大型ポンプ車の導入等を行う。	2億円	・来年度出水期までの導入を目指す。

事業費合計

540億円

※事業費合計額は端数処理の調整を行っている。